

湖山西 福祉だより

第66号

湖山西地区社会福祉協議会

〒680-0947
鳥取市湖山町西1丁目 512
湖山西地区公民館内
TEL(0857)31-3581
FAX(0857)31-3582

令和7年度「総会」開催 ～敬老会は11月開催予定～

4月26日(土)に地区公民館において、令和7年度湖山西地区社会福祉協議会総会が開催され、令和6年度事業・収支決算、令和7年度事業計画・収支予算、役員改選が承認されました。

以下に概要をお知らせします。

《事業計画》

1.老人福祉事業

- 敬老会の開催(11月9日予定)
- 愛の一声運動推進事業の支援
- 歳末助け合い事業の実施
- ふれあいデイサービス事業の実施
- いのちのバトン事業の実施

2.ふれあいの街づくり事業

- 合同福祉研修会の開催
- 高齢者グラウンドゴルフ大会の開催
- ふれあい食事サービス事業の実施
- ふれあいサロン事業への助成
- 世代間交流事業への助成

3.その他

- 「福祉だより」の発行
- 地区まちづくり協議会への参画
- 市社協事業への参画

《新役員》

※任期は2年

役職	氏名	備考
会長	星見 健蔵	
副会長	道中 淳子	食事サービス担当
//	湯川 由美子	デイサービス担当
//	川合 達也	会計担当
//	麻木 哲夫	総務担当

ごあいさつ

暑さ厳しき折、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度の役員改選により新たな役員体制で臨むこととなりました。役員一同一丸となり社会福祉事業に取組んで参る所存でございます。

さて、今日の社会情勢を見ますと、核家族化、未婚化、晩婚化の進展、少子・高齢化が急速に進む中、人口減少に歯止めのかからない状況にあります。

また、我が国の高齢化のピークと言われる2040年には国内の介護人材が40万人不足するともいわれていますし、三親等以内の家族・親族のいない方が増加するとも言われており、孤独・孤立問題が社会的な重要課題となっています。

このようなことから、地域コミュニティー、地域福祉の増進に向けて、地域住民が主体となった社会福祉事業の推進が求められています。今後とも皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

結びに皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げご挨拶と致します。



湖山西地区
社会福祉協議会
会長 星見 健蔵

《収支予算》

収入の部		支出の部	
市社協助成金	1,738,750	老人福祉事業	1,457,500
西自治会拠出	830,000	街づくり事業	906,000
利用料	200,000	会費負担	641,000
繰入金	300,000	会議費	40,000
繰越金	94,841	広報活動費	120,000
雑収入	40,909	調査研究費	10,000
		事務費	10,000
		役員活動費	15,000
		雑費	5,000
合計	3,204,500	合計	3,204,500

ゆうゆう倶楽部だより (ふれあいティーサービス事業)

新しい企画を少しづつ加えながら工夫して開催しています。終了後はお昼ご飯（お弁当）を持ち帰っています。

今回は昨年2月から今年6月までの開催内容についてお知らせします。

○2月9日（日）

市社協職員による保健指導の後、足の衰えを防ぐことの重要性や家庭の普段生活でできるスクワットの効果的なやり方などを体験しました。

○3月2日（日）

郷上眞由美さんにご指導いただき、きんつば作りを行いました。小豆とさつま芋の二種類を焼き上げた後は試食しながら茶話を楽しみました。

○5月18日（日）

市社協職員による保健指導の後、イスに座ってできる簡単な運動や、端午の節句にちなんだ鯉のぼりのリース作りを行いました。



○6月13日（金）

新日本海新聞社から講師をお招きして「新しい新聞講座」を開催しました。前半は新聞の作り方や新聞の歴史のお話を聞き、後半は新聞紙のエコバッグ作りを楽しみました。



食事サービス「交流会」を開催

6月7日（土）に食事サービス事業の関係者が一堂に会して交流会を開催しました。

当日は73名の参加があり、民生委員さんや調理・配達各班長さんの紹介などがあった後、参加者で意見交換や交流をはかりました。



いのちのバトン事業に取組みます

地区社協では今年度、民生委員さんと共同して「いのちのバトン事業」を実施することとしました。高齢の方などが医療情報や緊急連絡先を記入した用紙を専用ケースに入れて冷蔵庫等に保管しておき、緊急時に救急隊員等がそれを見て迅速に対応できるようにするものです。

今秋の実施を予定しており、今後皆さんにご案内して行きます。

《編集後記》

鳥取市が行っていた金婚・ダイヤモンド婚をお祝いする事業が今年から終了されるようです。限られた財政の中で時代のライフスタイル等も考慮して取捨選択した結果なのでしょうが、永くご夫婦そろってすごされていることをお祝いする…そんな事さえ無くなってしまうことに対しては世知辛さを感じてしまいます。（T.A.）